

**廿日市市議会議員定数調査に係る
市民アンケート調査
中間報告書**

**令和4年
廿日市市**

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1. 性別	3
2. 年代	3
3. 居住地域	4
4. 性別、居住地別の年代	4
III 調査結果	5
1. 議会や議員を身近に感じているか	5
2. 意見を聞いてもらえる議員が何人いるか	6
3. 情報を届けるために改善してほしいこと	7
4. 意見や声を議会に反映して欲しいと思うか	9
5. 議会との意見交換方法	10
6. 意見交換会への参加意向	12
7. 議会や議員に意見や要望を伝えたことがあるか	13
8. 議会や議員に意見や要望を伝えたことがない理由	14
9. 議会や議員に意見や要望を伝える機会や方法	16
10. 議員に求めるもの	18
11. 議会はどのような改革に取り組むべきか	20
IV 調査結果に基づく整理	22

I. 調査の概要

1. 調査の目的

地域課題が多様化・複雑化し、地域の経済資源が一層制約されることが見込まれる中で、適正な議員定数について検討する基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施した。

2. 調査の目的

(1) 調査対象

18 歳以上の市民の方（8 月 29 日現在・2500 名を無作為抽出）

(2) 調査方法

配布は郵送法で行い、回収は郵送法およびインターネットで行った。

(3) 調査期間

令和 4 年 9 月 12 日（金）～9 月 30 日（金）

(4) 回収結果

配布数 2,500 票のうち、有効回収票は 822 票（郵送による回収：649 票、インターネットによる回収：173 票 有効回収率 32.9%）であった。

地域別有効回収率は、高い順に、廿日市地域 35.9%、大野地域 31.5%、宮島地域 25.3%、佐伯地域 24.4%、吉和地域 19.3%、であった。

<居住地域別回収状況>

項目	合計	廿日市 地域	佐伯 地域	吉和 地域	大野 地域	宮島 地域	回答 しない	無回答
配布数	2,500	1,350	250	150	600	150		
回答数	822	485	61	29	189	38	11	9
構成比	100.0%	59.0%	7.4%	3.5%	23.0%	4.6%	1.3%	1.1%
地域別回収率	32.9%	35.9%	24.4%	19.3%	31.5%	25.3%		

3. 報告書の見方について

○図表中に示す n は、回答数総数のことである。

○本報告で使用する百分率は、小数点第二位を四捨五入した値で表示した。このため、比率の合計が 100%を上下することがある。

○複数回答項目については、回答すべき人を分母として百分率を算出しており、比率の合計は 100.0%を超える場合がある。

4. 標本誤差

今回の調査は、調査対象となる母集団（廿日市市に住民登録がある満18歳以上の市民）から一部を抽出した標本（サンプル）の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」を行っている。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがある。

標本誤差は、次式で統計学的に得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

(注) $\frac{N-n}{N-1} \div 1$

N = 母集団数 98,300 人
 ※令和4年1月1日現在の18歳以上の住民基本台帳人口
 n = 比率算出の基数（有効回答数）
 p = 回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は、次表のようになる。

回答比率 (p) 基数(n)	回 答 比 率				
	90%又は10%	80%又は20%	70%又は30%	60%又は40%	50%
822 票	±2.04	±2.72	±3.12	±3.34	±3.40
1,000 票	±1.85	±2.47	±2.83	±3.02	±3.08
500 票	±2.62	±3.50	±4.01	±4.28	±4.37
300 票	±3.39	±4.52	±5.18	±5.54	±5.65
100 票	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

（この表の計算式の信頼度は95%である。）

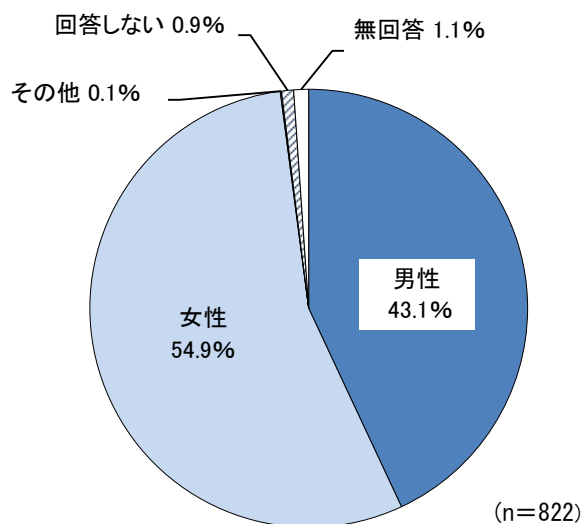
※本調査の実際の設問に当てはめてみると、問6の「議会や議員が、あなたに情報を届けるために改善してほしいと思うものを、次の中から選んでください。」の設問に関して、基数が822人で、そのうち、「議会広報さくら」の回答比率が30.5%であったことから、標本誤差は、±3.13%となり、この設問の「議会広報さくら」に対する回答比率は、27.37%～33.63%の範囲内にあると考えられる。

Ⅱ 回答者の属性

1. 性別

回答者の性別については、男性が 43.1%、女性が 54.9%となっている。

<性別>

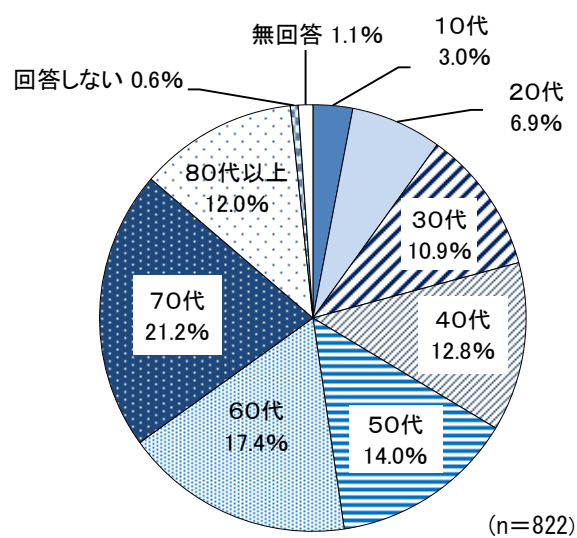


2. 年代

回答者の年代については、「70代」(21.2%)が最も多く、以下、「60代」(17.4%)、「50代」(14.0%)と続く。

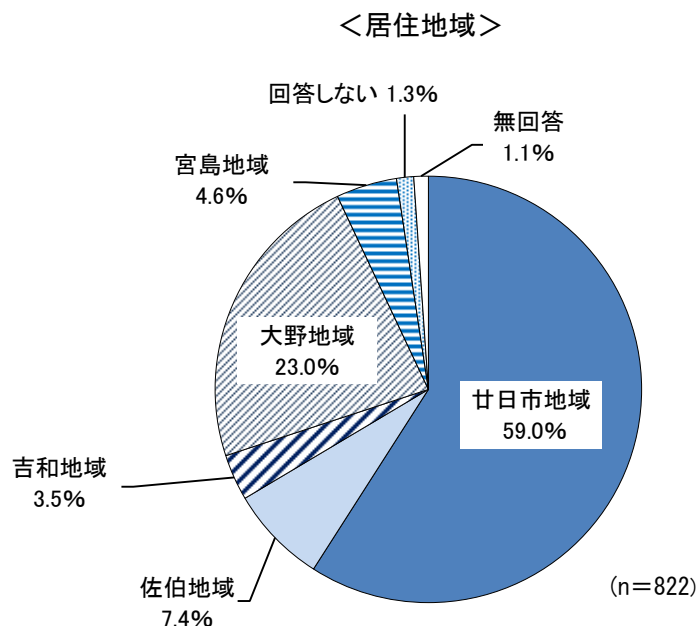
20代以下の構成比が低いですが、それ以外の年代については、バランスよくサンプルが確保できている。

<年代>



3. 居住地域

回答者の居住地域については、「廿日市地域」(59.0%)が最も多く、「大野地域」(23.0%)がそれに次ぐ。

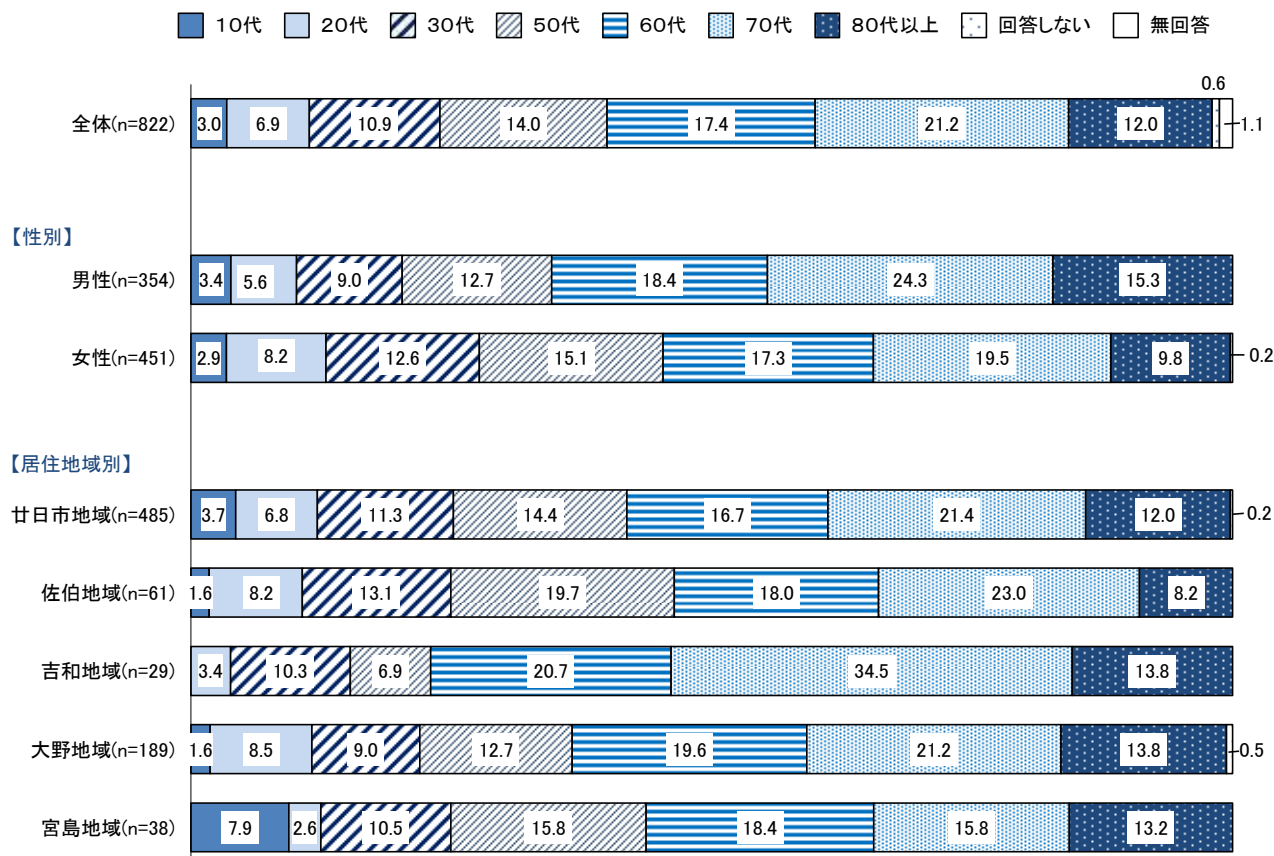


4. 性別、居住地別の年代

60代以上は男性が多く、50代以下は女性が多い傾向が見られる。

「吉和地域」は60代以上の割合が、他の地域より10ポイント以上高い。

＜性別、居住地別の年代＞



Ⅲ 調査結果

1. 議会や議員を身近に感じているか

問4 あなたは、議会や議員を身近に感じていますか？（○は1つ）

議会や議員を身近に感じているかについては、「あまりそう思わない」（48.5%）と「全くそう思わない」（34.1%）を合わせると8割台（82.6%）を占め、「非常にそう思う」（2.9%）と「ややそう思う」（13.9%）を合わせた割合は1割台（16.8%）に留まっている。

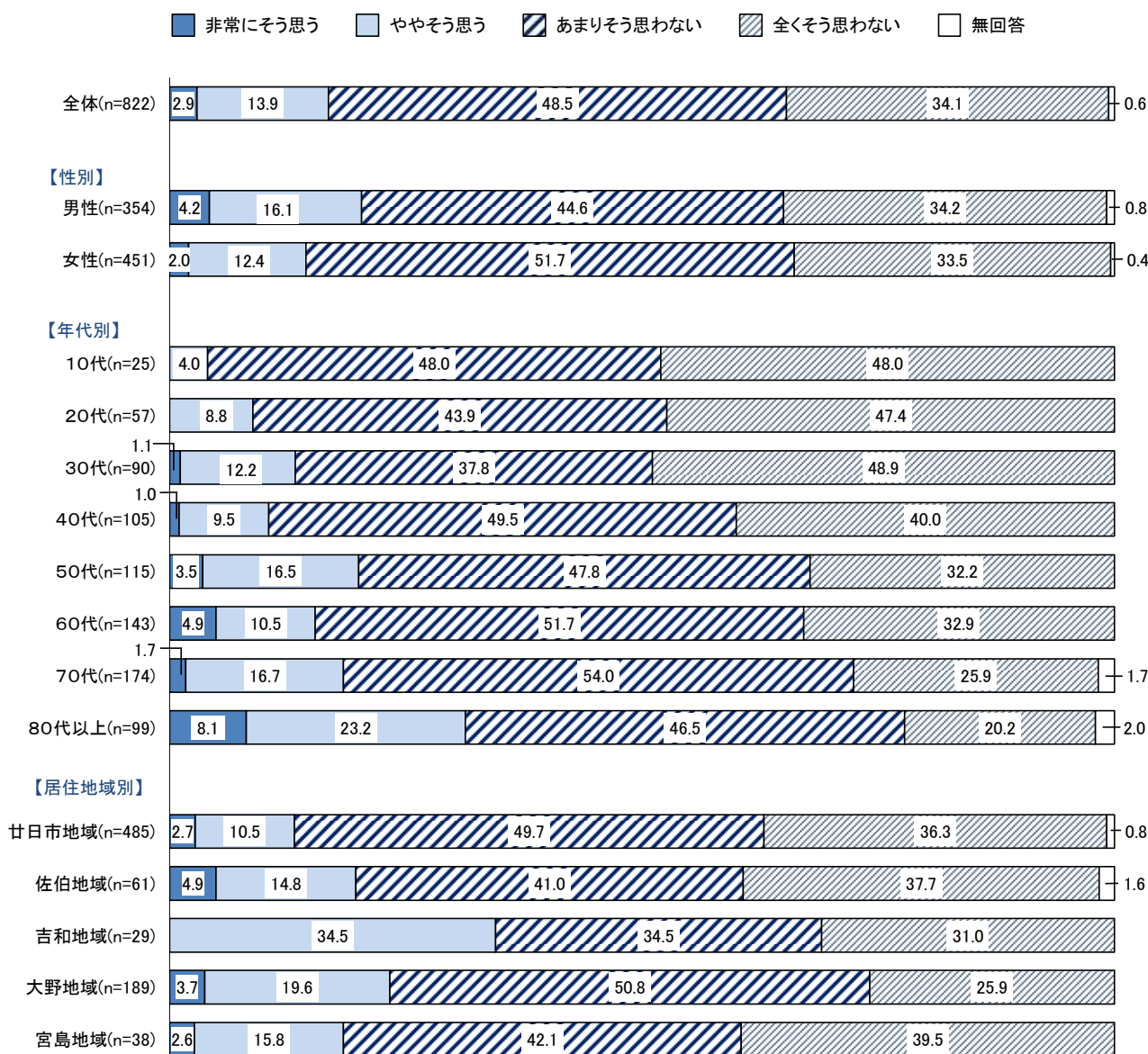
<属性別>

「男性」は「女性」より「非常にそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が高い。

年齢が下がるほど「非常にそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が低くなる傾向が見られる。

吉和地域は「ややそう思う」（34.5%）が3割台を占め、他の地域より議会や議員を身近に感じている割合が高い。

<議会や議員を身近に感じているか>



2. 意見を聞いてもらえる議員が何人いるか

問5 あなたの意見を聞いてもらえる議員が何人いますか？（○は1つ）

意見を聞いてもらえる議員が何人いるかについては、「0人」（73.1%）が最も多く7割台を占める。意見を聞いてもらえる議員が1人以上いる割合は2割台（26.1%）に留まっている。

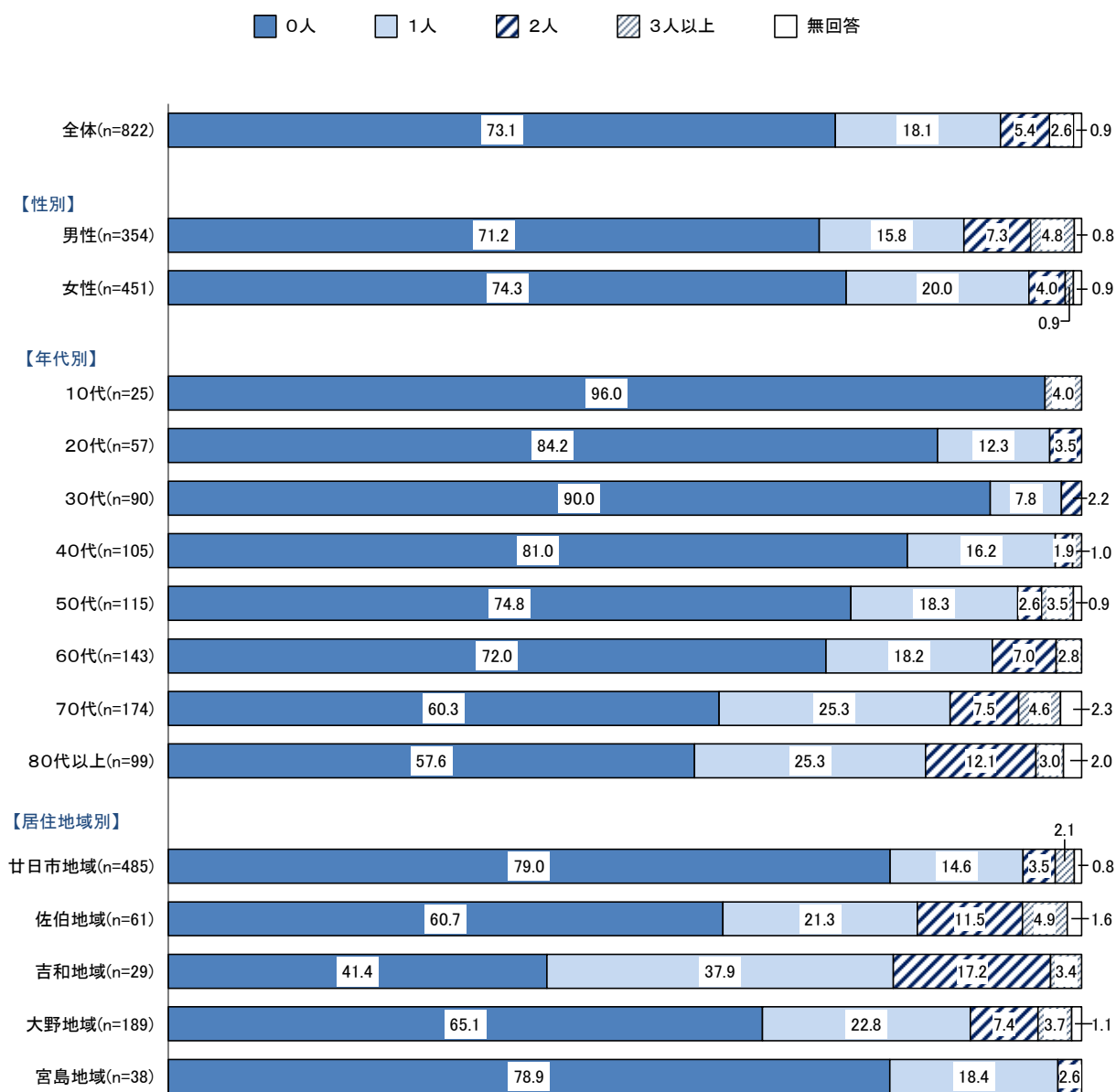
<属性別>

性別による顕著な差異は見られないが、「男性」は複数の議員と交流している割合が「女性」より高い。

意見を聞いてもらえる議員がいる割合は、年齢が下がるほど低くなる傾向が見られる。

意見を聞いてもらえる議員がいる割合は、「吉和地域」（58.5%）が高く、「廿日市地域」（20.2%）と「宮島地域」（21.0%）が低い。

<意見を聞いてもらえる議員が何人いるか>



3. 情報を届けるために改善してほしいこと

問6 議会や議員が、あなたに情報を届けるために改善してほしいと思うものを、次の中から選んでください。(〇は3つまで)

議会や議員が情報を届けるために改善してほしいと思うことについては、「議会広報さくら」(30.5%)が最も多く、以下、「マスコミの活用(新聞、テレビ、ラジオ等)」(26.5%)、「議員と市民との接触頻度」(19.7%)と続く。

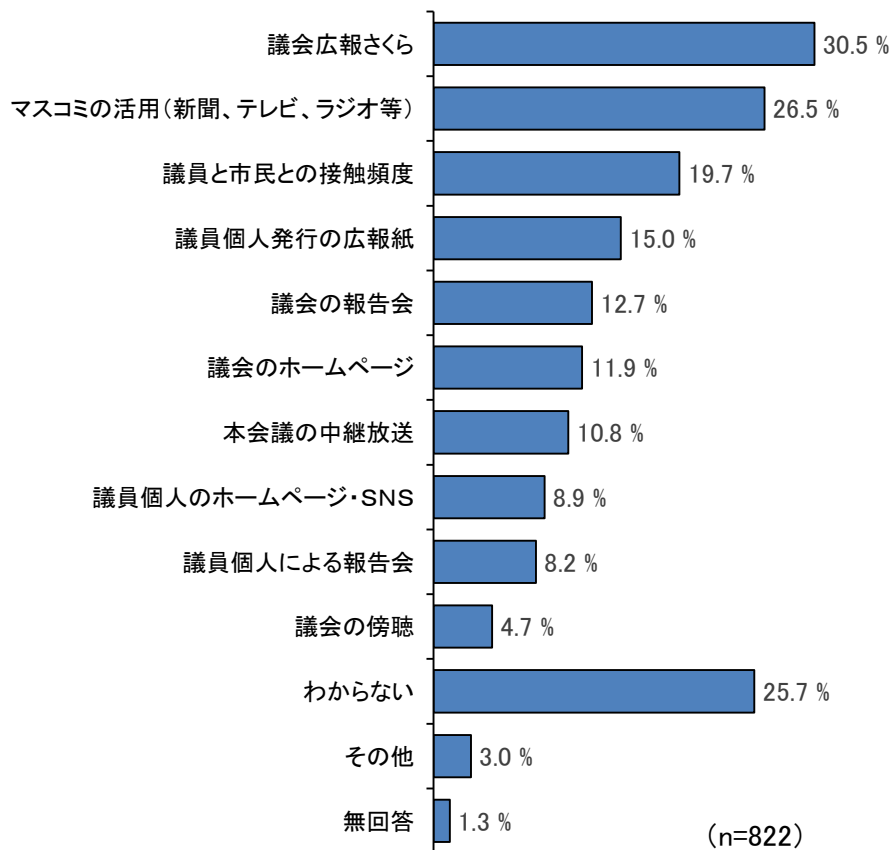
<属性別>

「女性」は「男性」より「わからない」が10ポイント以上高い。

「10代」「20代」は「わからない」が他の年代より高い。特に「20代」では、5割台(54.5%)が「わからない」と回答している。「議会広報さくら」の割合は、年代が上がるほど高くなり、「マスコミの活用(新聞、テレビ、ラジオ等)」と「わからない」の割合は、年代が下がるほど高くなる傾向が見られる。

「宮島地域」は「議会の報告会」(23.7%)が「全体」より10ポイント以上高い。

<情報を届けるために改善してほしいこと>



<その他>

- ・今のままで良い/特になし(4)
- ・議会の SNS
- ・廿日市市の LINE など
- ・ルビ付きさくら
- ・改善とは違うが、議会広報さくらは廿日市市の議会/議員を知る一つ的手段として参考になっている。
- ・座談会の様な場で気楽に話せる場がほしい。
- ・広報、市報、町内会広報等、もっと親しみのあるものに。
- ・当選後、全員の目指す町づくりと具体的方策を示した提言集の発行
- ・ポストへ物(紙)を入れるのではなく、1日に2、3の家へ寄って話をしてはどうか。
- ・議員とのリモート会議での意見交換

＜情報を届けるために改善してほしいこと(性別・年代別・居住地域別)＞

(単位: %)

		議会広報さくら	マスコミの活用 (新聞、テレビ、ラジオ等)	議員と市民との接触頻度	議員個人発行の広報紙	議会の報告会	議会のホームページ	本会議の中継放送	議員個人のホームページ・SNS	議員個人による報告会	議会の傍聴	わからない	その他
全体(n=822)		30.5	26.5	19.7	15.0	12.7	11.9	10.8	8.9	8.2	4.7	25.7	3.0
性別	男性(n=354)	30.2	29.9	24.3	17.5	16.7	14.4	12.1	10.5	11.6	4.8	18.9	2.8
	女性(n=451)	30.8	24.2	15.5	13.3	9.5	9.8	10.0	8.0	5.3	4.9	30.6	3.3
年齢別	10代(n=25)	4.0	40.0	24.0	-	8.0	12.0	8.0	12.0	8.0	-	40.0	-
	20代(n=57)	14.0	22.8	14.0	3.5	-	8.8	7.0	10.5	3.5	1.8	54.4	-
	30代(n=90)	13.3	31.1	14.4	11.1	11.1	12.2	12.2	17.8	4.4	6.7	35.6	1.1
	40代(n=105)	30.5	24.8	20.0	3.8	9.5	15.2	8.6	10.5	2.9	2.9	31.4	3.8
	50代(n=115)	26.1	24.3	20.9	11.3	12.2	26.1	11.3	13.9	6.1	5.2	22.6	3.5
	60代(n=143)	39.9	30.1	20.3	18.2	14.0	11.9	14.0	4.9	8.4	5.6	18.9	3.5
	70代(n=174)	37.9	28.2	16.7	26.4	12.1	7.5	12.6	7.5	13.8	5.7	16.7	4.6
	80代以上(n=99)	43.4	19.2	27.3	21.2	26.3	2.0	7.1	1.0	12.1	5.1	16.2	3.0
居住地域別	廿日市地域(n=485)	29.9	28.2	18.1	13.4	11.1	13.4	13.0	9.3	6.0	4.9	26.4	2.7
	佐伯地域(n=61)	27.9	23.0	29.5	11.5	11.5	14.8	6.6	13.1	13.1	6.6	26.2	3.3
	吉和地域(n=29)	34.5	24.1	17.2	24.1	20.7	10.3	3.4	13.8	13.8	-	13.8	10.3
	大野地域(n=189)	35.4	24.9	18.0	20.1	12.7	8.5	9.0	7.9	10.6	5.3	25.4	1.6
	宮島地域(n=38)	23.7	26.3	28.9	10.5	23.7	7.9	2.6	2.6	10.5	-	21.1	7.9

※「全体」+10以上に網掛け

4. 意見や声を議会に反映して欲しいと思うか

問7 あなたの意見や声を議会に反映してほしいと思いますか？（○は1つ）

意見や声を議会に反映してほしいと思うかについては、「非常にそう思う」（18.7%）と「ややそう思う」（49.0%）を合わせると6割台（67.7%）を占める。

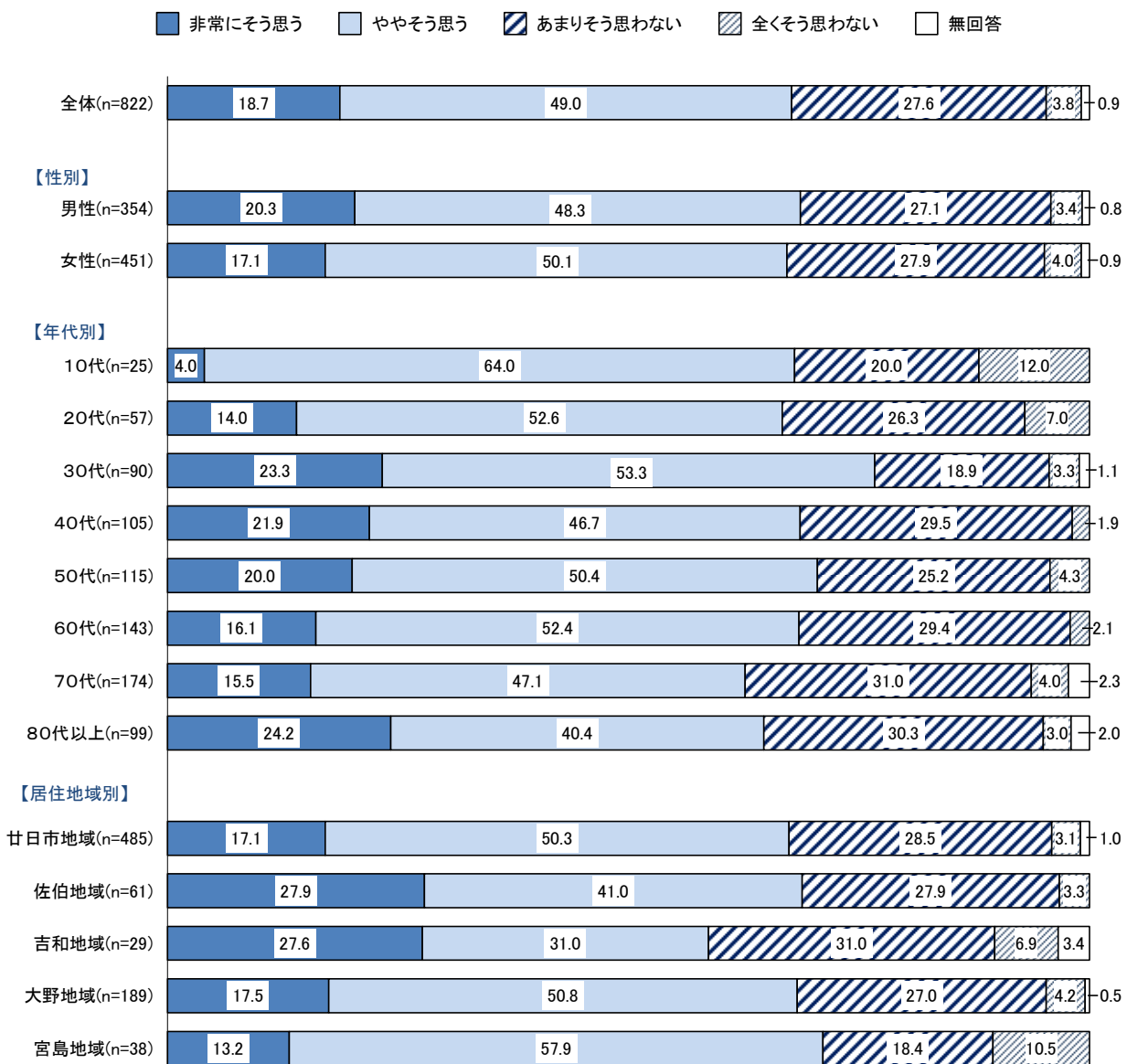
<属性別>

性別による顕著な差異は見られない。

「非常にそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は「30代」（76.6%）が最も高く、以下、「50代」（70.4%）、「40代」（68.6%）、「60代」（68.5%）と続く。

「吉和地域」は「非常にそう思う」（27.6%）と「ややそう思う」（31.0%）を合わせた割合（58.6%）が他の地域より低いが、「非常にそう思う」の割合は「佐伯地域」（27.9%）に次いで高い。

<意見や声を議会に反映して欲しいと思うか>



5. 議会との意見交換方法

問8 あなたの声を反映させるために議会と意見交換会をするとしたら、どのような方法が良いですか？（〇はいくつでも）

声を反映させるために議会と意見交換会をするとしたらどのような方法が良いかについては、「あなたの自宅近くでの開催」（29.7%）が最も多く、以下、「自治会や所属団体ごとの開催」（28.5%）、「リモート方式での開催」（19.0%）と続く。

＜属性別＞

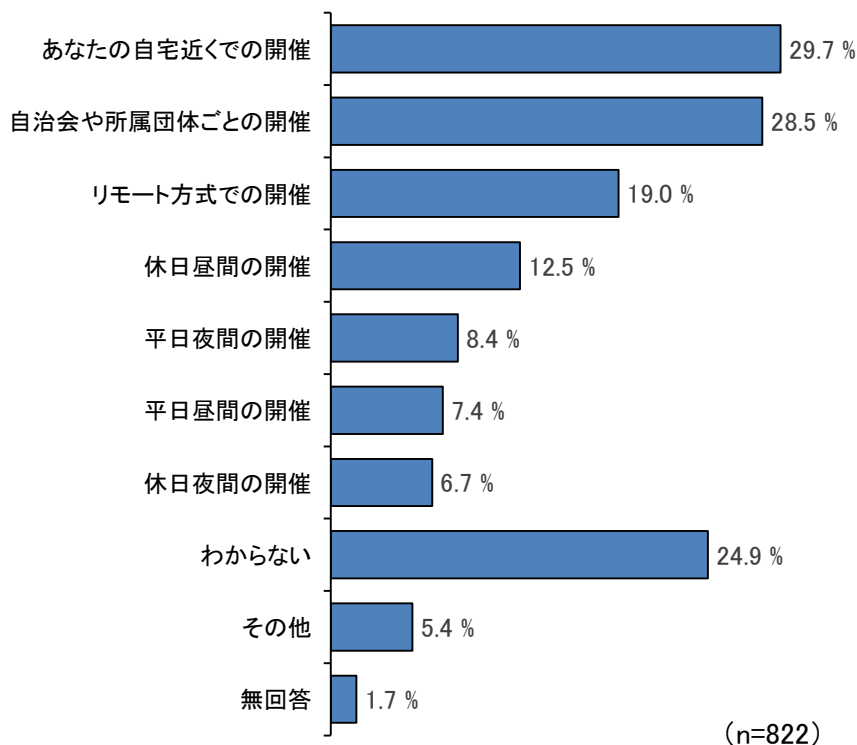
「男性」は「女性」より「休日昼間の開催」が5ポイント以上高い。

「10代」は「わからない」（36.0%）が、「20代」「30代」「50代」は「リモート方式での開催」（20

代：31.6%、30代：34.4%、50代：33.0%）が、「60代」は「自治会や所属団体ごとの開催」（39.2%）が、「80代以上」は「あなたの自宅近くでの開催」（40.4%）が「全体」より10ポイント以上高い。

「宮島地域」は「自治会や所属団体ごとの開催」（39.5%）が「全体」より10ポイント以上高い。

＜議会との意見交換方法＞



＜その他＞

- ・意見を聞くためのボックス（目安箱）の設置(6)
- ・アンケート/意見を書いたものの提出(6)
- ・市から問いかける文書やアンケート方式が良い。しっかり精査し結果を伝えてほしいし、それに対し議会ですていくのかも知らせて欲しい。
- ・SNSの活用(3)
- ・インターネットの活用/ウェブ上での意見投稿(2)
- ・定期的に地区巡回報告会を開催(2)
- ・小さな集落ごとに意見交換をしてほしい。次の選挙までにせめて一度くらいはお願いしたい。
- ・「広報さくら」の活用。頻繁に広報紙を町内に回してほしい。
- ・意見交換会出席者の無作為抽出(出席しやすい)
- ・学校、保育・こども園ごとの開催、フリースクール、ショッピングセンター
- ・etto 宮島交流館の活用
- ・高齢者にとっては対話が一番大切。親しみを感ずる。

＜議会との意見交換方法（性別・年代別・居住地域別）＞

（単位：％）

		あなたの自宅近くでの開催	自治会や所属団体ごとの開催	リモート方式での開催	休日昼間の開催	平日夜間の開催	平日昼間の開催	休日夜間の開催	わからない	その他
全体(n=822)		29.7	28.5	19.0	12.5	8.4	7.4	6.7	24.9	5.4
性別	男性(n=354)	29.9	28.5	18.1	16.4	9.9	7.6	9.0	22.9	4.8
	女性(n=451)	30.2	28.6	19.7	10.0	7.1	7.3	4.7	25.5	6.0
年齢別	10代(n=25)	20.0	4.0	28.0	16.0	4.0	－	12.0	36.0	4.0
	20代(n=57)	5.3	22.8	31.6	14.0	3.5	3.5	3.5	29.8	5.3
	30代(n=90)	25.6	21.1	34.4	14.4	12.2	5.6	11.1	20.0	8.9
	40代(n=105)	20.0	23.8	27.6	14.3	11.4	3.8	9.5	24.8	5.7
	50代(n=115)	31.3	20.9	33.0	10.4	13.9	2.6	8.7	26.1	5.2
	60代(n=143)	37.1	39.2	11.9	16.1	6.3	8.4	5.6	23.8	3.5
	70代(n=174)	35.1	35.1	5.7	10.3	6.9	10.9	3.4	24.1	5.7
	80代以上(n=99)	40.4	31.3	5.1	10.1	4.0	15.2	5.1	21.2	5.1
居住地域別	廿日市地域(n=485)	28.0	27.0	19.6	12.6	8.7	7.4	7.0	26.2	5.2
	佐伯地域(n=61)	37.7	32.8	18.0	8.2	13.1	4.9	3.3	18.0	11.5
	吉和地域(n=29)	34.5	20.7	20.7	6.9	17.2	10.3	6.9	24.1	6.9
	大野地域(n=189)	32.3	30.2	19.0	15.9	4.8	9.0	8.5	22.8	3.2
	宮島地域(n=38)	26.3	39.5	10.5	10.5	7.9	2.6	－	21.1	7.9

※「全体」+10 以上に網掛け

6. 意見交換会への参加意向

問9 問8で回答した方法で意見交換会をする場合、あなたは参加したいと思いますか？
(○は1つ)

問8で回答した方法で意見交換会をする場合、参加したいと思うかについては、「非常にそう思う」(10.9%)と「ややそう思う」(42.2%)を合わせた5割台(53.1%)が参加の意向を示している。

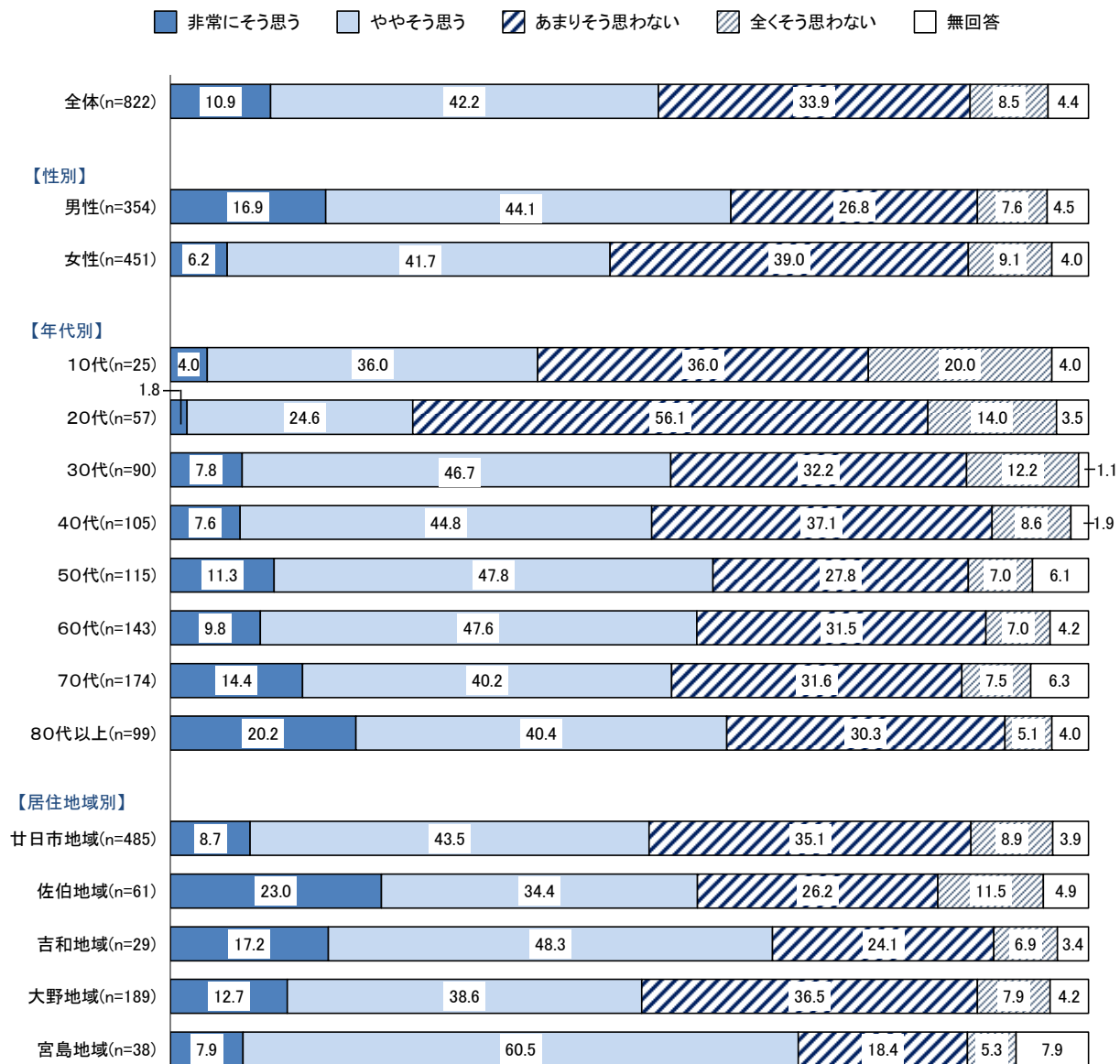
<属性別>

「男性」は「女性」より「非常にそう思う」が10ポイント以上高い。

「非常にそう思う」の割合は、年代が上がるほど高くなる傾向が見られる。

「吉和地域」と「宮島地域」は「非常にそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が「全体」より10ポイント以上高い。

<意見交換会への参加意向>



7. 議会や議員に意見や要望を伝えたことがあるか

問 10 あなたは、議会や議員に意見や要望を伝えたことがありますか？（○は1つ）

議会や議員に意見や要望を伝えたことがあるかについては、「伝えたことがない」（71.8%）が7割を占める。

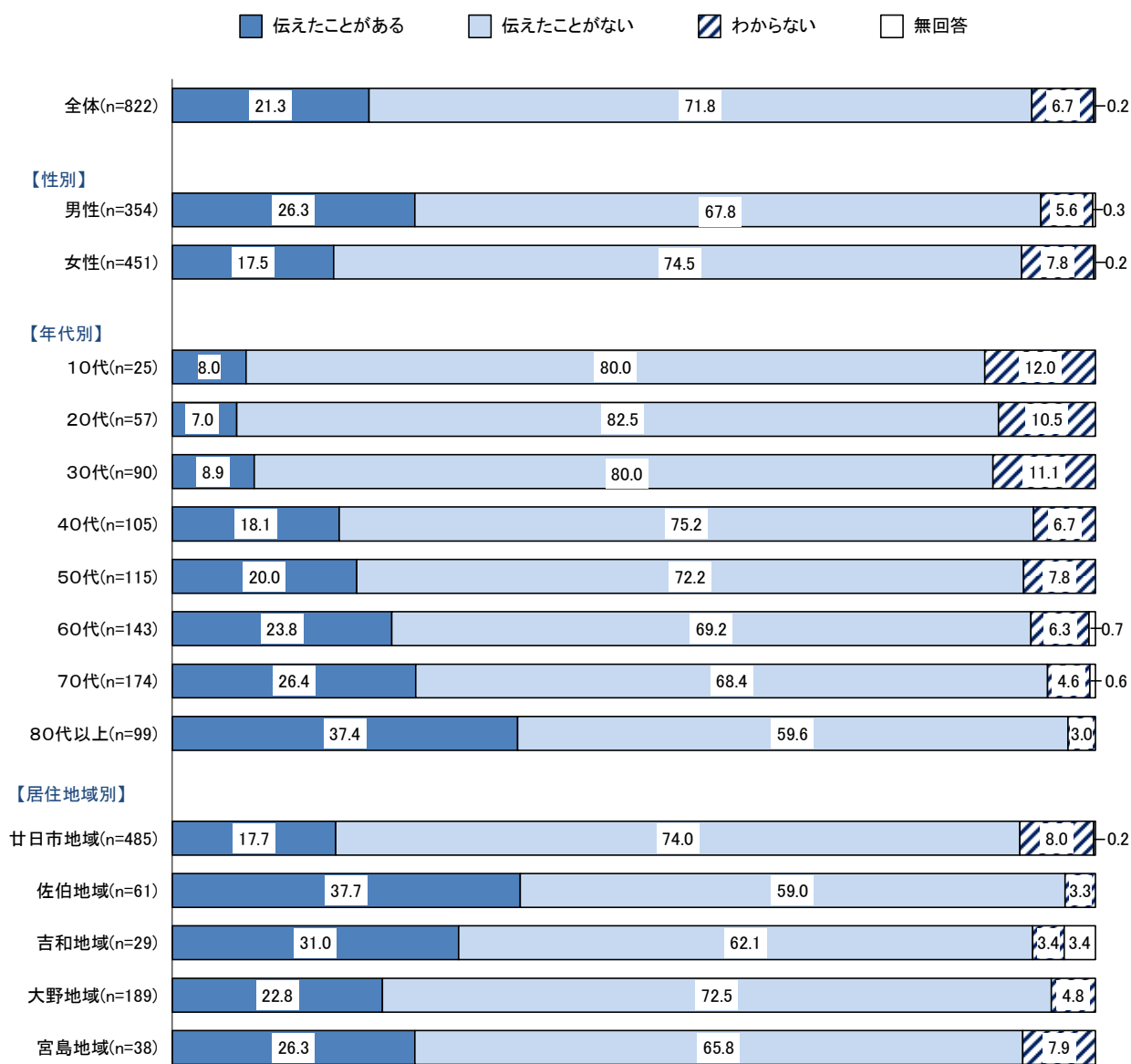
<属性別>

「男性」は「女性」より「伝えたことがある」が5ポイント以上高い。

「伝えたことがある」の割合は、年代が上がるほど高くなる傾向が見られる。

「佐伯地域」は「伝えたことがある」（37.7%）が「全体」より10ポイント以上高い。

<議会や議員に意見や要望を伝えたことがあるか>



8. 議会や議員に意見や要望を伝えたことがない理由

問 11 問 10 で「2. 伝えたことがない」と回答した人は、その理由は何ですか？（○は1つ）

議会や議員に意見や要望を伝えたことがない理由については、「伝え方がわからない」（30.7%）が最も多く、「伝えるという発想がない」（21.9%）がそれに次ぐ。

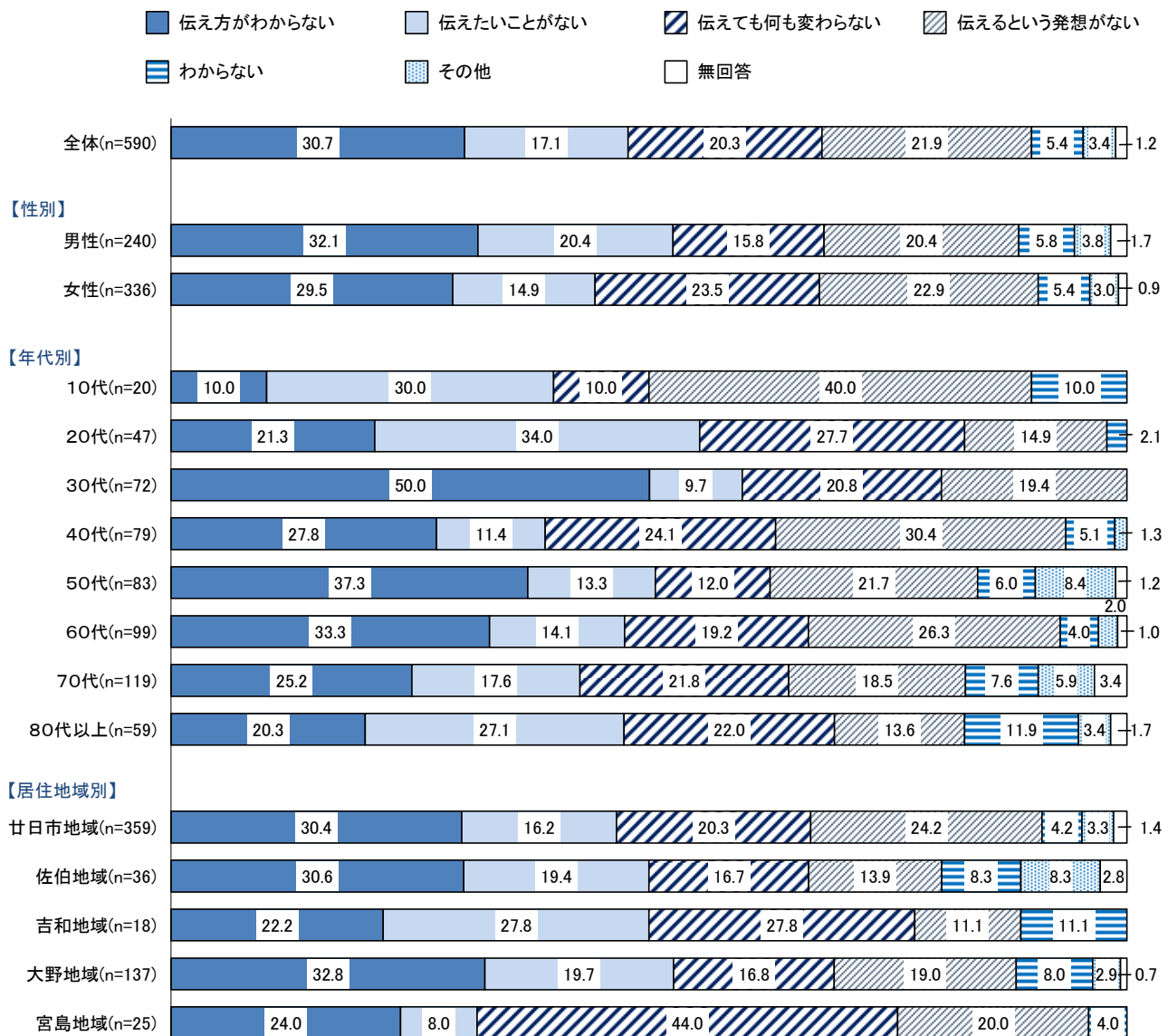
<属性別>

「男性」は「女性」より「伝えたいことがない」が5ポイント以上高く、「女性」は「男性」より「伝えても何も変わらない」が5ポイント以上高く、

「30代」は「伝え方がわからない」（50.0%）が他の年代より高く5割を占める。

「宮島地域」は「伝えても何も変わらない」（44.0%）が「全体」より20ポイント以上高い。

<議会や議員に意見や要望を伝えたことがない理由>



＜その他＞

- ・ 聴く耳を持っていない。
- ・ 自分自身、積極性に欠けている。
- ・ 自分の意見が反映されると思っていなかった。
- ・ 議員にとって有益と思える事案しか真剣に向き合わない。
- ・ 以前伝えたことがあるが、全く相手にしてもらえなかった。
- ・ 伝える方法がない。
- ・ 伝えたことがどう扱われるのか分からない。伝えっぱなしになりそう。
- ・ 伝えたい時と伝えられる時のタイミングのズレがある。
- ・ 伝えたいことが以前はあったが解決した。
- ・ 伝え方の選択肢を広げてほしい。
- ・ 近くに信頼できる人がいない。
- ・ 大略の意見（見識）なので述べる相手が誰なのか不明
- ・ 接触がない。
- ・ 市民の立場に立って動いた事がない。
- ・ 実施された施策等には賛成しかねるものがあるが、個人的には要望やその機会がないし、自分も至らないので言えない。
- ・ 最近引っ越してきた為わからない。
- ・ 選んだ議員さんは信頼している。

9. 議会や議員に意見や要望を伝える機会や方法

問 12 あなたは、議会や議員に意見や要望を伝えるには、どのような機会や方法が良いと思いますか？（○は3つまで）

議会や議員に意見や要望を伝えるには、どのような機会や方法が良いかについては、「議員に個別相談」（23.2%）が最も多く、以下、「意見交換会（市民の意見を市政に反映させるため市民の意見を伺う場）」（21.0%）、「議会ホームページへの投稿」（14.8%）と続く。

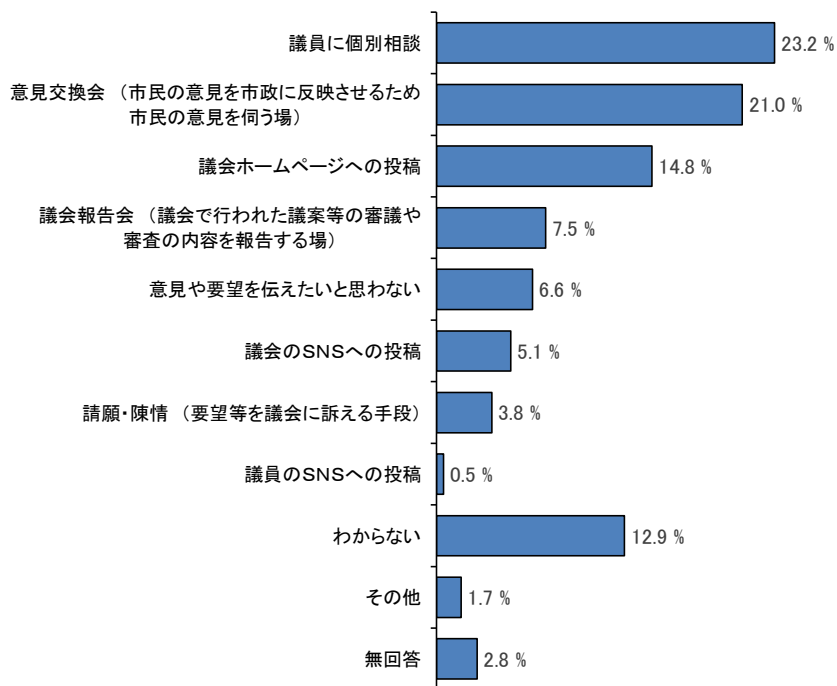
<属性別>

「男性」は「女性」より「議員に個別相談」が10ポイント以上高い。

「10代」は「議会のSNSへの投稿」（24.0%）が、「40代」は「議会ホームページへの投稿」（27.6%）が、「80代以上」は「議員に個別相談」（36.4%）が「全体」より10ポイント以上高い。

「宮島地域」は「意見交換会（市民の意見を市政に反映させるため市民の意見を伺う場）」（31.6%）が「全体」より10ポイント以上高い。

<議会や議員に意見や要望を伝える機会や方法>



(n=822)

<その他>

- ・意見を聞くためのボックス（目安箱）の設置(4)
- ・アンケート、意向調査(3)
- ・議員が町内を回る。
- ・意見や要望を伝える場を設けてもらいたい。ホームページや市報で市民に期間を作り聞いてほしい。
- ・サークルなど少しの時間を取って市民に伝える。
- ・地域に住む市職員を通じてが現実的
- ・地域の代表で選出されていると思うので、地域の集会所等で議会報告会等を望む。
- ・電話
- ・無作為抽出による意見交換会への出席要請
- ・ワークショップの開催

＜議会や議員に意見や要望を伝える機会や方法(性別・年代別・居住地域別)＞

(単位:%)

		議員に個別相談	意見交換会(市市民の意見を市政に反映させるため)	議会ホームページへの投稿	議会報告会(審議や審査の内容を報告する場)	意見や要望を伝えたいと思わない	議会のSNSへの投稿	請願・陳情(要望等を議会に訴える手段)	議員のSNSへの投稿	わからない	その他
全体(n=822)		23.2	21.0	14.8	7.5	6.6	5.1	3.8	0.5	12.9	1.7
性別	男性(n=354)	30.8	21.8	12.4	8.8	5.4	4.5	1.7	0.6	9.0	2.3
	女性(n=451)	18.0	20.6	16.6	6.7	6.4	5.8	5.5	0.4	15.7	1.3
年齢別	10代(n=25)	8.0	24.0	20.0	-	4.0	24.0	8.0	-	8.0	4.0
	20代(n=57)	10.5	22.8	14.0	5.3	12.3	10.5	1.8	1.8	19.3	-
	30代(n=90)	16.7	23.3	23.3	7.8	5.6	12.2	6.7	-	4.4	-
	40代(n=105)	19.0	26.7	27.6	3.8	5.7	4.8	2.9	-	7.6	1.9
	50代(n=115)	20.9	24.3	22.6	6.1	0.9	6.1	2.6	-	14.8	0.9
	60代(n=143)	25.9	23.1	12.6	7.7	4.9	2.8	4.9	1.4	15.4	0.7
	70代(n=174)	28.2	15.5	5.2	11.5	6.9	1.7	2.3	0.6	15.5	4.0
	80代以上(n=99)	36.4	14.1	5.1	10.1	10.1	-	5.1	-	12.1	2.0
職業別	廿日市地域(n=485)	20.2	22.5	17.1	6.8	7.4	5.6	3.3	-	12.2	1.9
	佐伯地域(n=61)	31.1	19.7	11.5	6.6	1.6	6.6	4.9	-	11.5	3.3
	吉和地域(n=29)	31.0	27.6	-	13.8	10.3	3.4	6.9	-	3.4	-
	大野地域(n=189)	29.6	14.8	13.8	7.4	3.7	4.8	5.3	2.1	14.3	1.6
	宮島地域(n=38)	18.4	31.6	7.9	15.8	5.3	2.6	-	-	18.4	-

※「全体」+10以上に網掛け

10. 議員に求めるもの

問 13 あなたが議員に求めるものは何ですか？（〇は3つまで）

議員に求めるものについては、「地域のことを考えた取り組み」（62.5%）が最も多く、以下、「行動力」（46.1%）、「市全体のことを考えた取り組み」（41.7%）と続く。

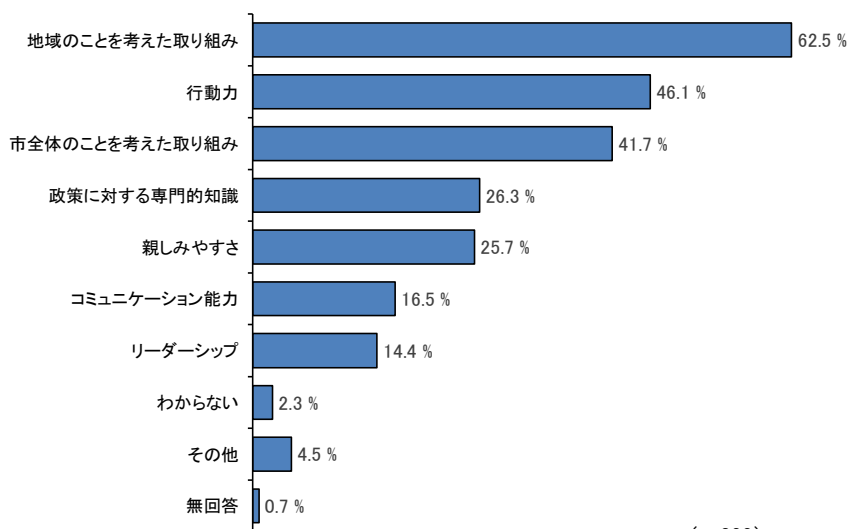
<属性別>

「男性」は「女性」より「リーダーシップ」が5ポイント以上高い。「女性」は「男性」より「地域のことを考えた取り組み」が5ポイント以上高い。

「10代」は「行動力」（68.0%）、「市全体のことを考えた取り組み」（52.0%）、「親しみやすさ」（52.0%）が、「20代」は「親しみやすさ」（40.4%）が、「30代」は「行動力」（57.8%）が「全体」より10%以上高い。

「吉和地域」は「地域のことを考えた取組」（82.8%）と「行動力」（58.6%）が「全体」より10ポイント以上高い。

<議員に求めるもの>



(n=822)

<その他>

- ・ クリーンな人/透明性/公平性(4)
- ・ 市民のことを考えた取組/市民の立場で考える。(2)
- ・ 説明能力/発信力(2)
- ・ 誠実さ
- ・ 現場の声を聞く。
- ・ 奉仕の精神
- ・ 謙虚さ(3)
- ・ 社会的弱者に耳を傾ける姿勢(2)
- ・ 柔軟性
- ・ 長期展望と長期的視野
- ・ 利己的でない。

<議員に求めるもの(性別・年代別・居住地域別)>

(単位:%)

		地域の ことを考 えた取 り組み	行 動 力	市 全 体 の こ と を 考 え た 取 り 組 み	政 策 に 対 す る 専 門 的 知 識	親 し み や す さ	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン 能 力	リ ー ダ ー シ ッ プ	わ か ら な い	そ の 他
	全体(n=822)	62.5	46.1	41.7	26.3	25.7	16.5	14.4	2.3	4.5
性 別	男性(n=354)	57.6	44.4	41.8	27.4	22.9	16.4	17.5	2.5	4.8
	女性(n=451)	66.3	48.3	41.7	25.5	27.5	16.6	11.8	2.2	4.4
年 齢 別	10代(n=25)	44.0	68.0	52.0	8.0	52.0	12.0	12.0	4.0	8.0
	20代(n=57)	57.9	40.4	47.4	22.8	40.4	19.3	10.5	3.5	5.3
	30代(n=90)	68.9	57.8	46.7	28.9	21.1	13.3	13.3	2.2	4.4
	40代(n=105)	63.8	52.4	46.7	20.0	26.7	11.4	17.1	2.9	3.8
	50代(n=115)	55.7	42.6	44.3	27.0	26.1	23.5	13.0	3.5	6.1
	60代(n=143)	63.6	49.0	44.8	34.3	17.5	19.6	12.6	1.4	4.9
	70代(n=174)	63.8	40.8	32.2	28.2	20.1	14.9	16.1	2.9	3.4
	80代以上(n=99)	67.7	37.4	36.4	22.2	33.3	16.2	15.2	-	4.0
職 業 別	廿日市地域(n=485)	61.6	44.3	47.4	27.6	24.9	15.5	14.8	2.1	3.3
	佐伯地域(n=61)	67.2	39.3	29.5	18.0	32.8	9.8	8.2	1.6	8.2
	吉和地域(n=29)	82.8	58.6	27.6	24.1	10.3	24.1	17.2	-	3.4
	大野地域(n=189)	60.8	54.5	34.4	26.5	25.4	20.6	11.6	3.7	4.8
	宮島地域(n=38)	63.2	39.5	36.8	21.1	34.2	18.4	23.7	2.6	10.5

※「全体」+10以上に網掛け

11. 議会はその様な改革に取り組むべきか

問 14 あなたは、議会はどのような改革に取り組むべきだと思いますか？（○は3つまで）

議会はどのような改革に取り組むべきかについては、「行政運営のチェック機能」（37.1%）が最も多く、以下、「市民との意見交換会や意向調査」（32.4%）、「議員定数」（29.0%）と続く。

<属性別>

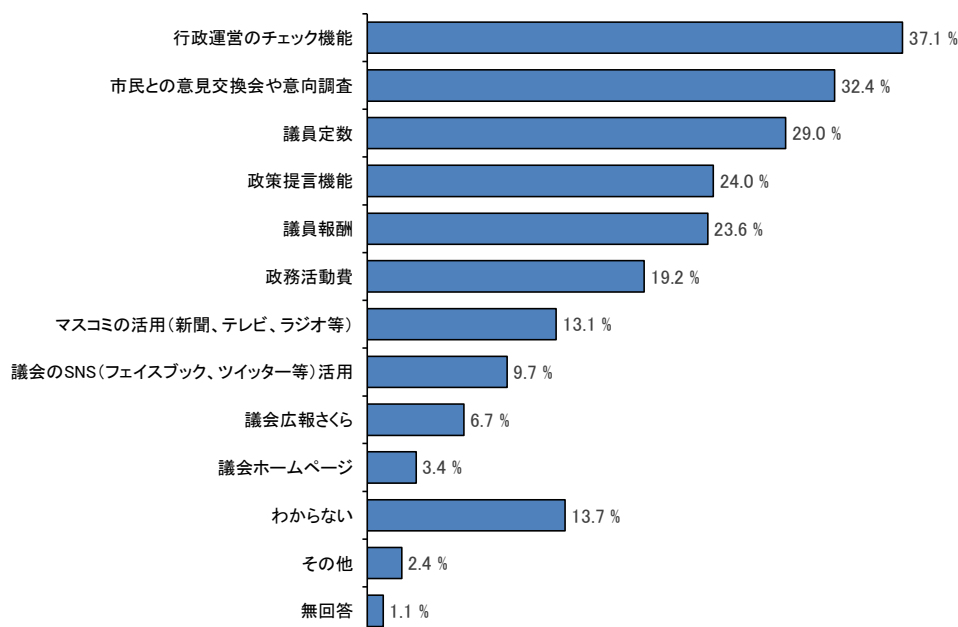
性別による顕著な差異は見られない。

「議会の SNS（フェイスブック、ツイッター等）活用」は年代が下がるほど高くなる傾向が見られる。

10 代は「マスコミの活用（新聞、テレビ、ラジオ等）」（24.0%）が、50 代は「議員報酬」（33.9%）が、70 代は「議員定数」（42.5%）が「全体」より 10 ポイント以上高い。

「吉和地域」は「行政運営のチェック機能」（48.3%）、「議員定数」（48.3%）、「議員報酬」（34.5%）が、「宮島地域」は「議員報酬」（39.5%）が「全体」より 10 ポイント以上高い。

<議会はその様な改革に取り組むべきか>



<その他>

- ・ 自ら(議会議員)のチェック機能
- ・ 議員を評価するマニュアルの策定
- ・ デジタル化
- ・ ITC を活用した市民政策審査
- ・ 市民に開かれた窓口の設置
- ・ 若い世代を取り入れる。
- ・ 時代にそった考え方。自分の地域だけでなく廿日市市全体のことも見すえて考える方向性
- ・ 議員削減
- ・ 議員定数→むしろ増やすべき。議員報酬→ムダをなくするべく削減。政務活動費→領収書要提出
- ・ 議員定数、議員報酬は、全国的に同等(人口)の地区との比で高いか低いのか？

＜議会はどのような改革に取り組むべきか(性別・年代別・居住地域別)＞

(単位: %)

		行政運営のチェック機能	政策提言機能	議員定数	議員報酬	政務活動費	市民との意見交換会や意向調査	議会ホームページ	議会広報さくら	議会のSNS(フェイスブック、ツイッター等)活用	マスコミの活用(新聞、テレビ、ラジオ等)	わからない	その他
全体(n=822)		37.1	24.0	29.0	23.6	19.2	32.4	3.4	6.7	9.7	13.1	13.7	2.4
性別	男性(n=354)	37.6	32.5	30.8	24.6	20.9	33.6	3.7	7.1	9.6	15.3	8.5	3.1
	女性(n=451)	37.3	17.5	26.4	22.2	18.0	31.9	3.3	6.4	10.2	11.8	17.7	1.8
年齢別	10代(n=25)	24.0	8.0	4.0	12.0	24.0	16.0	4.0	4.0	32.0	24.0	28.0	-
	20代(n=57)	17.5	14.0	8.8	14.0	14.0	24.6	1.8	3.5	22.8	8.8	35.1	5.3
	30代(n=90)	35.6	20.0	21.1	24.4	13.3	36.7	5.6	3.3	25.6	17.8	12.2	3.3
	40代(n=105)	41.0	27.6	21.0	21.9	19.0	33.3	5.7	4.8	12.4	17.1	13.3	1.9
	50代(n=115)	39.1	17.4	28.7	33.9	24.3	33.0	6.1	1.7	11.3	10.4	13.9	4.3
	60代(n=143)	44.1	32.9	32.9	22.4	18.9	37.1	1.4	6.3	4.9	9.1	9.1	2.1
	70代(n=174)	34.5	24.7	42.5	25.3	22.4	32.2	2.3	10.9	0.6	14.9	9.8	2.3
	80代以上(n=99)	44.4	28.3	29.3	18.2	16.2	29.3	2.0	14.1	2.0	11.1	12.1	-
職業別	廿日市地域(n=485)	37.7	23.5	27.2	21.6	19.6	29.5	4.5	7.0	10.7	16.3	13.0	1.9
	佐伯地域(n=61)	39.3	21.3	26.2	26.2	23.0	36.1	3.3	6.6	3.3	3.3	13.1	6.6
	吉和地域(n=29)	48.3	24.1	48.3	34.5	13.8	34.5	3.4	13.8	10.3	6.9	-	6.9
	大野地域(n=189)	37.6	26.5	26.5	20.6	18.0	39.2	0.5	6.3	11.6	11.1	17.5	1.6
	宮島地域(n=38)	23.7	21.1	36.8	39.5	21.1	34.2	5.3	2.6	2.6	7.9	13.2	5.3

※「全体」+10以上に網掛け

IV. 調査結果に基づく整理

① 8割台が議会や議員を身近に感じていないと回答（P5）

議会や議員を身近に感じているかという質問に対し、8割台が「あまりそう思わない」（48.5%）または「全くそう思わない」（34.1%）と回答しており、多くの市民にとって、議会や議員が身近な存在になっていないことが伺える。年代が下がるほどその傾向は強くなり、20代以下では9割台が「あまりそう思わない」（10代：48.0%、20代：43.9%）または「全くそう思わない」（10代：48.0%、20代：47.4%）と回答している。

② 7割台が意見を聞いてもらえる議員がいないと回答（P6、P13～14）

意見を聞いてもらえる議員が何人いるかという質問に対し、7割台（73.1%）が「0人」と回答している。また、議会や議員に意見や要望を伝えたことがあると回答した人は、全体の2割台（21.3%）に留まっており、伝えたことがない理由については、「伝え方がわからない」（30.7%）と「伝えるという発想がない」（21.9%）を合わせると5割台を占める。

①と合わせて考えれば、議員と市民との接点を増やし、議会や議員を身近に感じていただける取組に注力することが必要と思われる。

③ 約3割が「議員広報さくら」の改善を希望（P7～8）

議会や議員が情報を届けるために改善してほしいと思うことについては、約3割（30.5%）が「議員広報さくら」を選択している。具体的な改善の方向性については、「ルビ付きさくら」「もっと親しみのあるものに」といった意見が「その他」としてあがっている。

④ 6割台が自分の意見や声を議会に反映して欲しいと回答（P9）

「議会や議員が身近な存在になっていない」、「意見を聞いてもらえる議員がいない」と回答する人が多い一方で、6割台（67.7%）が自分の意見や声を議会に反映して欲しいと回答している。年代別では、30代～60代のニーズが高く、こうした層の意見を把握し、議会に反映させる仕組みが必要と思われる。

⑤ 属性に応じた配慮が必要（P10～11、P12、P16～17）

議会との意見交換方法については、80代以上の約4割（40.4%）が自宅近くでの開催を希望しているのに対し、60代と70代は「自治会や所属団体ごとの開催」が、10代から50代までは「リモート方式での開催」が最も多い。また、宮島地域は「自治会や所属団体ごとの開催」（39.5%）が約4割を占める。希望する方式で意見交換会を開催する場合に、参加したいと思うかどうかについては、5割台（53.1%）が参加の意向を示しており、意見交換会の開催にあたっては、属性に応じた配慮が求められる。

議会や議員に意見や要望を伝えるには、どのような機会や方法が良いかについても、属性による差異がある。具体的には、「80代以上」は「議員に個別相談」（36.4%）が、「40代」は「議会ホームページへの投稿」（27.6%）が、「10代」は「議会のSNSへの投稿」（24.0%）が最も多い。

「意見交換会（市民の意見を市政に反映させるため市民の意見を伺う場）」は、比較的幅広い層に支持されており、60代以下で2割台を占める。宮島地域では「自治会や所属団体ごとの開催」（31.6%）が他の地区より高く3割台を占める。

⑥ 議員に求めるもの（P18～19）

議員に求めるものについては、20代以上では「地域のことを考えた取り組み」の方が「市全体のことを考えた取り組み」より割合が高い。

⑦ 「議員定数」は改革希望項目の第3位（P20～21）

議会はどのような改革に取り組むべきかについては「行政運営のチェック機能」（37.1%）が最も多く、「市民との意見交換会や意向調査」（32.4%）がそれに次ぎ、「議員定数」（29.0%）は3番目に多い項目となっている。

調査の結果から、議員定数の改革については、一定のニーズがあることが伺える。ただし、議会や議員が身近でないと回答した人の割合が8割台、意見を聞いてもらえる議員がいないと回答した人の割合が7割台を占めること、そしてその一方で、6割台が自分の意見や声を議会に反映して欲しいと回答していることを踏まえれば、市民の意見を吸い上げ、議会に反映していく仕組みを整えることが、求められていると考えられる。